

企画展 生誕130年記念

植物学者「郡場寛」



郡場寛(1920年 ベルリン)



ジャックフルーツの木と郡場寛
(1931年 リオデジャネイロ)



愛用の映写機 アグファ社(ドイツ)製



愛用のタイプライター コロナ社(アメリカ)製



愛用のパナマ帽

郡場 寛 (こおりば かん) は、植物生理学の研究者として世界的に著名な植物学者です。彼は世界各地を視察し、その研究は植物生理学のほか植物の生態、形態にもおよび、葉序論、蒸散作用、日長作用などについての優れた成果を公表しています。

明治15年(1882)9月6日に現在の青森市栄町で生まれ、青森市の造道小学校に入学、菘町小学校、荒川小学校、青森県師範学校附属小学校、弘前市の青森県第一中学校(現 弘前高等学校)と進学しました。その後、東京帝国大学(現 東京大学)理科大学植物学科等への進学を経て、東京帝国大学理科大学、東北帝国大学農科大学(現 北海道大学)、京都帝国大学(現 京都大学)において、植物生理学や植物形態学などの教鞭を執りました。

昭和17年(1942)、京都帝国大学退官後、終戦時まで昭南特別市(シンガポール)の昭南植物園長に就任

し、戦時下の植物園を保護するなど、その調査研究活動に対する姿勢は後世まで語り継がれています。

終戦後、昭和29年から弘前大学に学長として迎えられ、農学部創設などに尽力し、昭和32年12月15日、学長在任中、公舎にて他界しました。

郡場寛に関わる資料は、ご子息から青森県立郷土館に一括して寄贈されました。生誕130年に当たり、寄贈資料を元に郷土出身の先人の業績を紹介します。

(島口 天)

○期間 11月16日(金)～12月16日(日) 9:00～17:00

○場所 当館1階・特別展示室(大ホール)

○料金 一般310(250)円 高校・大学生250(120)円

中学生以下、障がいのある方は無料

※()内は20名以上の団体料金。

上記金額で常設展も観覧できます。

冬の企画展 「さしこ～田中忠三郎着物コレクション～」

江戸時代、庶民は麻を用いた衣生活が一般的でした。麻布は編み目が粗くなることから、補強や保温性を高めるため、女性の手により「さしこ」が行われました。さしこは、次第に装飾化し、「菱刺し」「こぎん刺し」などと呼ぶ特色ある模様を持つようになりました。

重要有形民俗文化財「津軽・南部のさしこ着物」786点は、その膨大な量とともに、本県のさしこの特色を顕著に示す貴重な着物コレクションです。これらは、田中忠三郎氏が長年、本県庶民の生活文化を研究する中で収集してきた民具コレクションの一部であり、国指定を機にその保護を十分なものとするため、当館に寄託されたものです。

氏は自著『サキオリから裂織』で「北国の女達の心優しさと厳しい風土に逞しく生きた姿、いとしい程の美しく健気な心に胸を打たれる。(中略)それ故に私は衣を調べ収集し、保存している。」と述べています。

本企画展では、コレクションから精選した約200点を展示(一部展示替えも予定)し、可能な限り数多くの「さしこ」を公開します。(古川 実)

○期 間 12月22日(土)～平成25年1月27日(日)

○時 間 9:00～17:00

○場 所 当館1階・特別展示室(大ホール)

○観覧料 12月:一般 310(250)円
 高校・大学生 150(120)円
 中学生以下 無料
 1月:一般 250(200)円
 高校・大学生 120(100)円
 中学生以下 無料

※()内は20名以上の団体料金。

上記金額で常設展も観覧できます。



タツツケ



マエダレ

阿部合成と常田健の合作 「海の群像」

この壁画はもともと青森市造道にあった県病公舎家屋内土蔵のしっくい壁に描かれていたもので、同公舎の老朽化にともない解体される時に、



壁画「鱈をかつぐ人々」は、常設展示室3階にて、今年度三月三十一日まで展示されます。

その壁の絵の部分まるごと切り取り額装したものです。この絵を描いたのは阿部合成(没年昭和48年)と常田健(没年平成12年)です。ふたりは従兄弟どうしで、ともに青森市(旧浪岡町)に生まれ、誕生した年も同じ明治43年でした。ふたりとも幼い頃から芸術に関心があり、昭和9年頃にふたりだけのグループ「グレル家」を結成して、たがいに美術の研鑽に励みました。そのころに描かれたのが、この作品の基となった県病公舎家屋(当時合成の父が居住)の壁画です。合作「海の群像」は「延縄(はえなわ)を引く漁師」「船揚げ機をまく人々」「水揚げ」「鱈をかつぐ人々」「魚市場の風景」の5場面よりなり、場面ごとに二人が分担して描きました。この連作は二人の友情と青春の記念碑的存在の作品といえます。(對馬 恵美子)

来るたびに新しい“季節展示コーナー”

当館3階「わくわく展示室」の入口に、「季節展示コーナー」があります。北国あおもりの四季の移ろいや風土を感じていただけるよう、月ごとにテーマを設定し、展示替えをおこなっています。

これまで、「ビッグこいのぼり」展（5月）「ねぶた・ネプタ」展（7月）などを実施し、季節のまつりや習俗についてご紹介しました。また、庶民の食事を再現した「昭和の食卓」展（4月）、切符や写真で綴る「青森の鉄道」展（6月）などを実施し、青森の歴史や文化についてご紹介しました。自然分野では、本県に去来する渡り鳥について、美しい写真とリアルな剥製を通じて紹介する「去りゆく鳥たち」展（9月）を開催。考古分野では、縄文人の「食」についてご紹介する「食いしんぼう万歳-縄文編-」（10月）を2階考古展示室で開催しました。

今月（11月）からは、特別企画として2ヶ月にわたり「昔のくらし-手近な収納-」展を開催します。銭箱や提灯などコンパクトでアイデアあふれる暮らしの道具を紹介。1月からは第2弾として、「昔のくらし-暖房の道具-」展を開催。薪炭を使用するものから、電化以降のものまで、暖房に関する資料をあつめ、暖房の過去・現在・未来をみつめます。（増田 公寧）



「ねぶた・ネプタ」展(7月)



「去りゆく鳥たち」展(9月)

あもり街かど探偵団～青森の歴史を探索する街歩き～

郷土館では、9月15日（土）と22日（土）の2回にわたり、今年で4年目になる街歩きイベント「あもり街かど探偵団」を開催しました。15日は「かつての中心街を歩く」と題し、かつての繁華街である青森市本町周辺から新町・県庁に至るコースを歩きました。途中、武内製飴所・カネセ高橋かまぼこ店といった古くから続く商店や、旧日本勧業銀行の建物を利用している貸衣装店、孔雀苑に立ち寄り、それぞれの由来について学びました。この日は気象台の最高気温が33.9℃を記録する暑い日で、参加者の方々も、訪問先の方々も汗だくでした。



9月22日 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸前



9月15日 カネセかまぼこ店前

22日の「交通と街並みの変遷を見る」では、海岸沿いのコースをとり、海運や鉄道に関係した遺構などをたどりました。この日訪問した本町カトリック教会・青森製氷・青函連絡船可動橋では、それぞれの施設を見学させて頂きました。

2回にわたり、いずれも、青森市の街かどに隠された歴史を、参加者の方々ともども感じ取ることができました。ご協力を頂きました皆様には感謝を申し上げます。

（佐藤 良宣）

企画展 寄贈記念 「成田彦栄コレクション」 開催



企画展 寄贈記念「成田彦栄コレクション」を、当館大ホールで11月7日(水)まで開催しています。

- (1) 成田彦栄氏及び同コレクションの紹介。
- (2) 考古関係 亀ヶ岡式土器などの縄文遺物、佐藤蒞「考古画譜」など
- (3) 歴史関係 菅江真澄「外浜奇勝」など
- (4) 民族関係 アイヌ民具など
- (5) 美術関係 平尾魯仙の山水画、県出身日本画家の絵画類など

特別展「ぼくらのがっこう」



学制公布140年を記念して開催された特別展「ぼくらのがっこう」が、8月26日をもって無事終了しました。本展の開催が夏休み期

間中だったこともあり、多くの家族連れで賑わいました。青森県の学校の歴史を様々な視点から展示物を通して振り返り、毎週日曜日には当館職員によるギャラリートークも行われました。会場には、昔の教室を再現したコーナーもあり、実際に椅子に座ったり、机に触れたりしながら、昔の思い出を語る場となっていたようです。

「手塚治虫展」



手塚治虫さんの描いたマンガやアニメを中心にその歴史と作品を紹介する展示会が、9月1日から9月30日まで開催されました。代表作品「鉄腕アトム」の連載60周年を迎え、その当時作品を見ていた方や、手塚さんを知らない子どもまで、幅広い年齢の方々が来館しました。

9月2日には、手塚プロダクション著作権事業局長・清水義裕氏が来館し、ギャラリートークや講演会が開催されました。手塚さんの作品に関する解説や本人とのエピソードなども紹介され、参加した方々は興味深げに耳を傾けていました。

★郷土館のキャラクター「しゃこちゃん仲間たち」の紹介★



はじめまして。私たち「しゃこちゃん仲間たち」は今年の夏、全国の博物館等の情報を紹介するサイト『インターネットミュージアム』で開催された、博物館のキャラクター日本一を決める「ミュージアムキャラクターアワード2012」に参加したんですよ！今回は51館のキャラクターが参加して、結果は24位。みんなにも名前を覚えてもらいたいから、それぞれ自己紹介するよ。これからも応援よろしくね☆



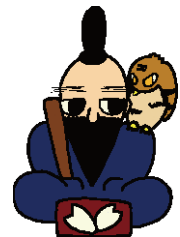
しゃこちゃん(♀)

私は、亀ヶ岡遺跡からやってきて、考古展示室が気に入って棲みついたの。おしゃれと旅行がだ〜い好きよ。



きのっぴよ(♀)

私は、いろんな生き物たちと触れ合うのが好きよ。『実は毒キノコなんじゃないの』って噂もあるらしいけど、どうなのかしら...フフフ。



つがるうみ(♂)

わしは、この立派な長〜い髭が自慢じゃな。そして、肩に乗っている「鷹」は、権威の象徴として大事にしているのじゃ。

これからのイベント情報

24年度の特別展・企画展

- ◆「寄贈記念 成田彦栄コレクション」
10/10(水)~11/7(水)
- ◆「生誕130年記念 植物学者 郡場寛」
11/16(金)~12/16(日)
- ◆「さしこ〜田中忠三郎着物コレクション〜」
12/22(土)~1/27(日)
- ◆「第2回 東奥児童書道展」
2/15(金)~2/17(日)
- ◆「新収蔵コレクション」
2/23(土)~4/14(日)

24年度のイベント

- ◆「こびとを探せ！〜第2弾〜」
12/16(日)までの土・日・祝日
- ◆「冬休み郷土館クイズラリー」
12/22(土)~1/15(火)
- ◆「冬休みめぐり回し大会」
1/6(日)※事前申し込みが必要
- ◆「土曜セミナー」毎週土曜日
午後1時半から当館小ホール
- ◆「解説案内」毎週日曜、祝日
午後2時から常設展を案内

今回の自己紹介は、残念ながらここまで！次回は残り2体の紹介と、キャラクターたちが4コマ漫画で登場するかも！？お楽しみに〜。

